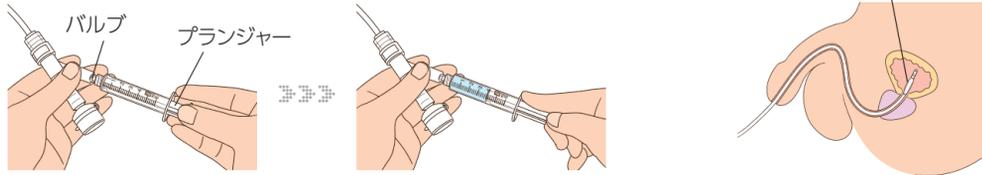


4 | カテーテルの抜去

- 膀胱に尿がたまっている場合は、カテーテルを抜去する前にフィルターキャップのフタを開けて排尿してください。排尿後、フィルターキャップのフタを閉じてください。
- プランジャーが押し込まれたままの状態のリザーバーをバルブにしっかりと差し込みます。プランジャーをゆっくり引いてバルーン内の水を吸引します。リザーバー内に全量の水を戻してください。

バルーン内の水をリザーバー内に戻すと、バルーンは萎みます。



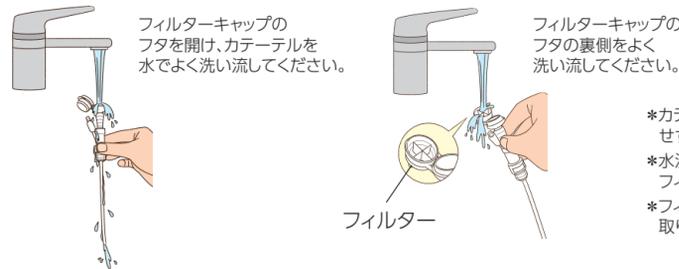
プランジャーを引いても水が戻ってこなくなるまでしっかり引いてください。目安は注入量の約5mLです。

- リザーバーを外します。リザーバーを保管する時は先端にキャップを付けてください。
- カテーテルをゆっくり引き抜きます。

*カテーテルを引き抜くときは、無理をせず確認しながら行ってください。
*引き抜くときに抵抗を感じた場合は、バルーン内に水が残っている可能性があります。再度リザーバーを使ってバルーン内の水を吸引してください。
*異常な抵抗がある場合、無理に引き抜かず、医師に報告し、指示に従ってください。

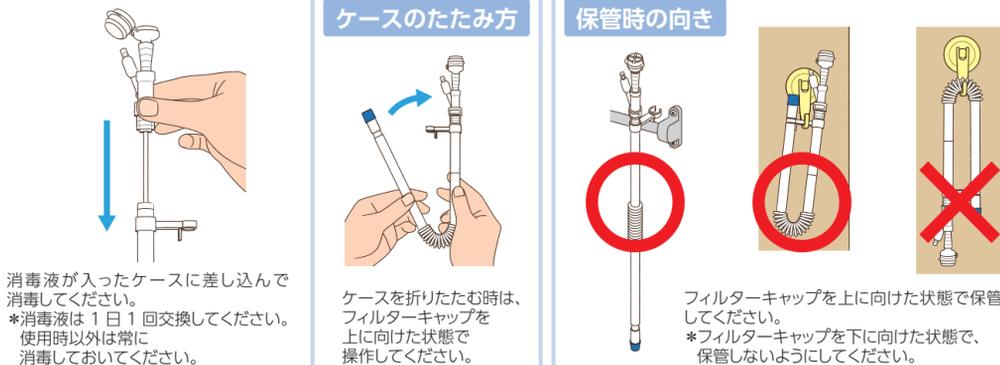
5 | 洗浄・保管

- カテーテルを水で洗い流してください。



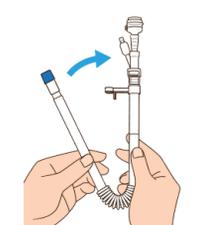
*カテーテルやフィルターキャップを使用後は、放置せず速やかに洗ってください。
*水洗いする際はバルーンやフィルターキャップのフィルターを傷つけないように注意してください。
*フィルターキャップに白い結晶が付着した場合は、取り除いてください。

- 消毒液が入ったケースに収納し、フィルターキャップのフタを閉めて保管してください。



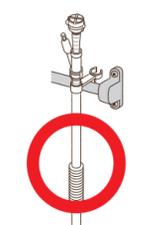
消毒液が入ったケースに差し込んで消毒してください。
*消毒液は1日1回交換してください。使用時以外は常に消毒しておいてください。

ケースのたたみ方



ケースを折りたたむ時は、フィルターキャップを上に向けた状態で操作してください。

保管時の向き



フィルターキャップを上に向けた状態で保管してください。
*フィルターキャップを下に向けた状態で、保管しないようにしてください。

廃棄

本品の廃棄の際は、お住まいの地域、市区町村の廃棄方法に従って廃棄してください。

使用方法は動画でもご覧いただけます >>

使用方法動画をご覧になるには、二次元コードをスキャンするか、URL にアクセスしてください。
https://www.createmedic.co.jp/products_detail/id=1618



■使用上のご注意

- 本品は、医師の管理下において使用してください。必ず使用前に使用方法や使用上の注意について医師から指導を受けてください。
- 医師の指示に従って適切なサイズのカテーテルを使用してください。
- 本品を勝手に改造しないでください。ハサミや鋭利な刃物などで傷をつけないでください。
- 膀胱内に結石がある場合は、バルーンの破裂の原因になるため使用できません。
- バルーンを膨らませる際は医療機関から提供されたバルーン用の水以外は使用しないでください。生理食塩水や造影剤を使用した場合は、成分が凝固しバルーンを収縮できなくなるおそれがあります。また、空気を使用した場合は、空気が抜けてバルーンが収縮し、カテーテルが抜けるおそれがあります。
- 本品を滅菌または煮沸消毒しないでください。
- クロルヘキシジングルコン酸塩、ヨウ素および次亜塩素酸ナトリウム系の消毒液は使用しないでください。
- 本品を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 細菌やウイルスなどの感染のリスクがあるため、複数の患者で使用しないでください。
- MRI 検査を受けるときに本品を使用中(カテーテル挿入中)の場合は、医療従事者に申し出てください。
- フィルターキャップを下に向けた状態で、消毒・保管しないようにしてください。本品を消毒・保管しているときに、フィルターキャップを下に向けて長時間放置すると、フィルターキャップのフタの隙間から中の消毒液がにじみ出ることがあります。

■保管方法

直射日光および高温多湿、塵埃を避けて清潔な場所で保管してください。

■有効期間

本品のパッケージに表示されている使用期限までに使用してください。

■使用期間

30 日以内 *カテーテルおよびケースが汚れたり、破損した場合は、期間内であっても医師の指示に基づいて交換してください。

■保守点検事項

- 使用後は必ず洗浄してください。医療機関から提供された消毒液(または潤滑剤を添加した消毒液)をケースに入れ、この中にカテーテルを収納して、使用時以外は常時消毒しておいてください。
- ベンザルコニウム塩化物系やベンゾトニウム塩化物系の消毒液を推奨しています。潤滑剤の一例としては滅菌グリセリンがあります。消毒液と潤滑剤は医師の指定したものを使用してください。
- 消毒液は1日1回交換してください。
- 消毒液は、用法および用量に従い必要に応じて希釈して使用してください。

2024年10月作成
許可なく本資料を転載、引用、複製、改変、第三者へ提供することを禁じます



お問い合わせ先：クリエートメディック株式会社 TEL 0120-853598

SBC20001

セフティカテ 自己導尿用バルーンを使用される患者様へ



機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器
間欠泌尿器用カテーテル 36125000

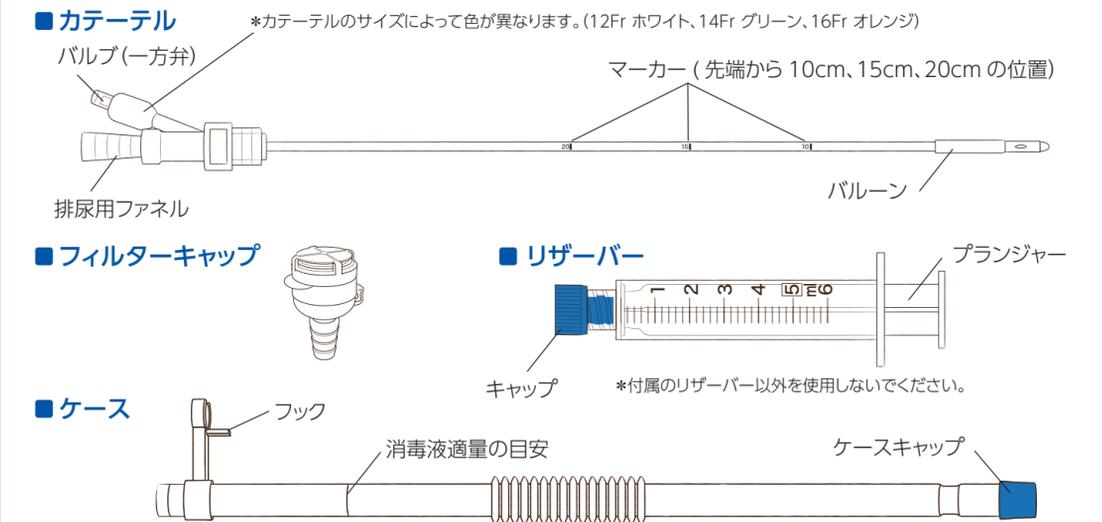
販売名：セフティカテ 自己導尿用バルーン
医療機器認証番号：304AABZX00042A01
一般的名称：間欠泌尿器用カテーテル

セフティカテ 自己導尿用バルーン

取扱説明書 <男女共通>

本品の使用前に必ず医師から使用方法および使用上の注意について指導を受けてください。
本品は間欠導尿法の操作に習熟した方のみご使用ください。
本書はいつでも見返すことができるように保管しておいてください。

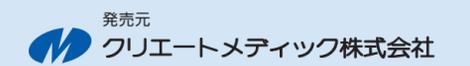
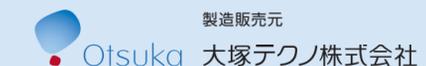
セット内容と各部の名称



用意するもの

- セフティカテ 自己導尿用バルーン
- 医療機関から提供されたバルーン用の水(以下、バルーン用の水)
- 医療機関から提供された消毒液(以下、消毒液)
- 清浄綿またはウェットティッシュ
*バルーン用の水と消毒液については、医療機関から提供されたもの以外使用しないでください。
*消毒液と潤滑剤があらかじめ混合されていることがあります。

<必要時> ■ 潤滑剤または潤滑ゼリー ■ 採尿バッグ



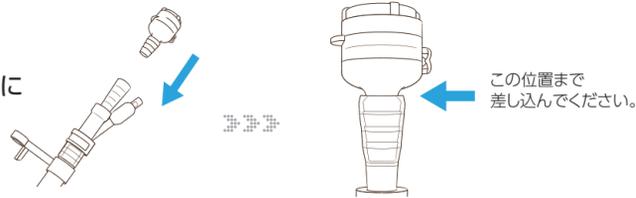
手洗い

本品の使用前と後に石鹸などで手指をよく洗ってください。



1 | 使用前の準備

1 フィルターキャップを排尿用ファネルに差し込みます。

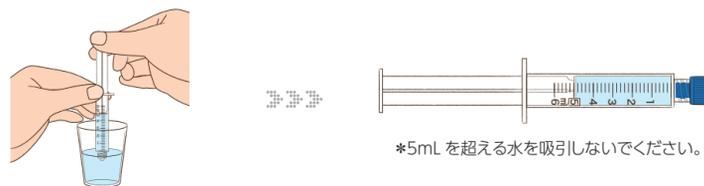


2 初回はリザーバーを使用して、バルーンに空気(5mL)を入れ、バルーンに空気漏れなどの異常がないことを確認してください。

*リザーバー内に異物の混入がないことを確認してください。なお、リザーバーの内側に白い筋が見えることがありますが、滑りを良くするための潤滑油であり、使用に問題ありません。



3 リザーバー内にバルーン用の水を5mL吸引し、先端にキャップを付けておきます。



4 消毒液をケースに入れ、その中にカテーテルを差し込み、消毒をしておきます。



本品は未滅菌および未消毒のため、使用前に必ず消毒してください。

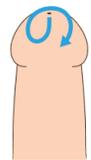
2 | カテーテルの挿入

*膀胱に尿がたまった状態でカテーテルの挿入を行ってください。

1 衣服を下げ、カテーテルを挿入しやすい姿勢をとり、清浄綿またはウェットティッシュで尿道口およびその周辺を清拭してください。

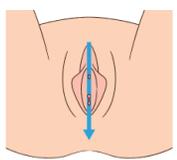
男性

中央から
外側へ清拭



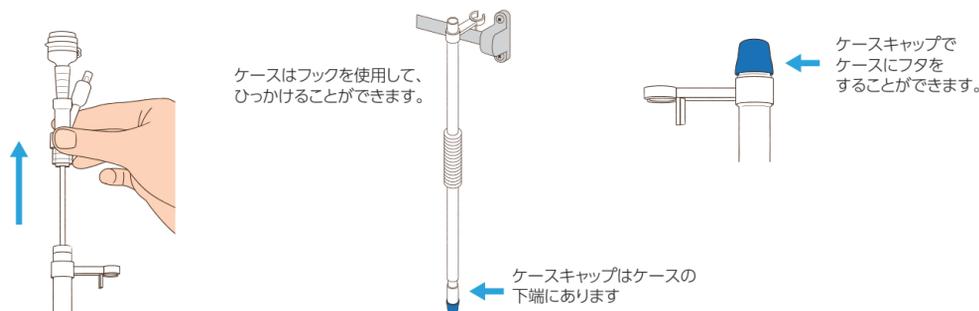
女性

前から
後ろへ清拭



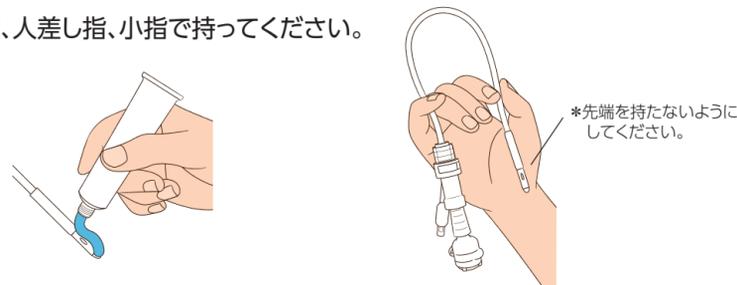
2 | カテーテルの挿入(つづき)

2 ケースからカテーテルを取り出します。



3 カテーテルを利き手の親指、人差し指、小指で持ってください。

*カテーテルを挿入する時に痛みなどの問題がある場合は、潤滑剤または潤滑ゼリーを塗ってください。

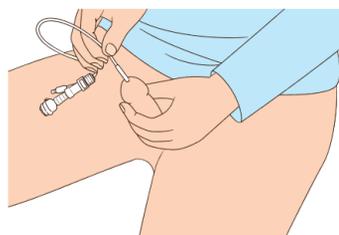


4 医療機関で指導を受けた手順の通りにカテーテルを挿入します。

*カテーテルの挿入は無理をせず確認しながら行ってください。挿入が困難な場合や、膀胱や尿道の痛み、尿の混濁、尿に血液が混じるなどの異常がある場合、使用を中止し、医師に報告し、その指示に従ってください。

男性

もう片方の手で陰茎を上引っ張るようになり、尿道口にカテーテルをゆっくりと挿入します。



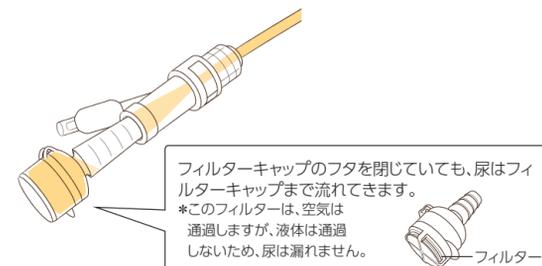
女性

もう片方の手で陰唇を開き尿道口にカテーテルをゆっくりと挿入します。



カテーテルの先端部が膀胱に到達し、尿がフィルターキャップまで流れてきたら、さらに5cm押し込みます。

*男性は20cm程度、女性は5cm程度挿入しても、尿がフィルターキャップまで流れてこない場合、フタを開けます。その場合は器などにフィルターキャップを向けてください。尿が出てくることを確認できた位置からさらに5cm押し込みます。
*挿入するカテーテルの長さは男性は20~25cm、女性はおよそ10cmが目安です。



必ず尿が流れ出てくることを確認し、その位置からさらに5cm押し込んでください。(バルーン部を膀胱内にしっかり入れ、バルーンが尿道で膨らまないようにするため)

2 | カテーテルの挿入(つづき)

5 バルーンを適正な位置まで挿入した後、リザーバーのキャップを外し、リザーバーをバルブにしっかりと差し込み、プランジャーをゆっくりと押して水をバルーン内に入れ、バルーンを膨らませます。
*この時、挿入したカテーテルが抜けやすいよう注意してください。



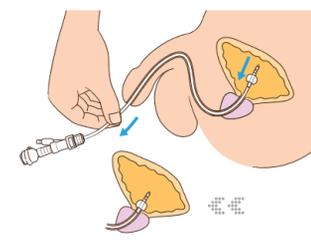
*5mLを超える水をバルーン内に入れしないでください。
*リザーバーの先端をバルブに差し込む時は、奥まで確実に挿入してください。
*痛みや抵抗が生じた場合には、尿道内でバルーンが膨らんでいる可能性があるため、プランジャーを引いて水をリザーバーに戻し、カテーテルの位置を確認してください。

6 リザーバーを外し、バルブから水が漏れていないことを確認します。

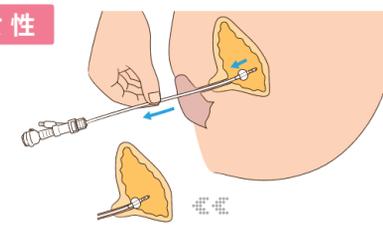
7 カテーテルを持って、抵抗を感じるまでゆっくりと引いてください。

*この時、カテーテルを強く引いたり、抵抗があるのにさらに引かないでください。尿道の損傷の原因になります。

男性



女性



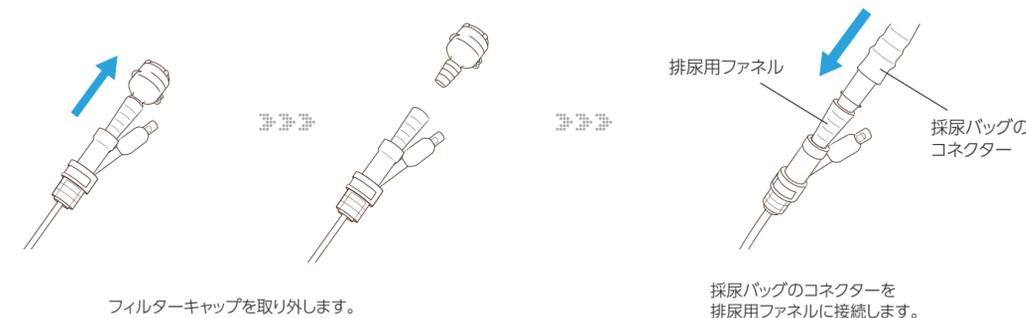
8 フィルターキャップのフタを開けて排尿します。

3 | 採尿バッグとの接続方法

以下の方法で市販の採尿バッグと接続することが可能です。

● フィルターキャップを取り外して、排尿用ファネルに採尿バッグのコネクターを接続してください。

*フィルターキャップや採尿バッグのコネクターの抜き差し時に、排尿用ファネルに過度な力がかからないように注意してください。
*採尿バッグに接続して使用する場合、採尿バッグを膀胱より高い位置に設置しないでください。



フィルターキャップを取り外します。

採尿バッグのコネクターを
排尿用ファネルに接続します。